

# 編集 後記

生理学会の special interest group として「生理学教育法シェアリンググループ」を発足させていただいた第77回学術大会（2000年3月，横浜）から3年が経過しましたので，コーディネータとして，この紙面を借りて，経過報告をさせていただきたいと思ひます。

製作してきた教材は「生理学：はじめの一步」と命名し，まったくの初学者用の教材との位置づけを明確にしました。初学者が知るべき重要な情報が何であるのかを大胆，冷静，沈着に抽出したのち，その情報を可能な限り正確，明確，別々に提示しました。また，多角度からの練習問題を多数用意しました。たとえば，「インスリンは血糖を低下させる」を勉強した後に，インスリンは【A 血中カルシウム濃度/B 血圧/C 血糖/D 心拍数/E 尿量】を【A 低下させる/B 上昇させる】のが主な作用である。血糖を低下させる作用があるのは【A グルカゴン/B インスリン】である。などの複数の問題に取り組んでもらうことで，知識の定着をねらっているわけです。改訂しやすく，マルチメディアが使えるように（また，経費がかからないように）昭和大学教育用サーバから公開 ([http://edu.showa-u.ac.jp/physiol\\_share/](http://edu.showa-u.ac.jp/physiol_share/)) しております。教材の一部は英訳しました。1日に100アクセス以上あるか否かがホームページのひ

とつの日安であると聞いているのですが，本年4月22日にこれを達成しました（^^）。現在（5月9日）も平日は100以上のアクセスがあります（学内からの全アクセスと自宅に入っているプロバイダー全体からのアクセスとは数えられておりません）。

また，yahoo，googleなどの検索エンジンでも上位に食い込めるようになってきました。たとえば，「アシドーシス」で検索すると，6,420サイト中3位にランクされています。小生が一番驚いているのがyahoo.comによる英文サイトの検索で‘respiratory cycle’で検索される207,000サイト中，1位にランクされていることです（ホームページのPublication欄参照）。無論，検索エンジンでのランキングと学術的貢献度や教育的有用性が必ずしも相関するわけではないとは思ひますが，「生理学教育法シェアリンググループ」が国内外に認知され始めたとは結論できるかもしれせん。これも本プロジェクトを応援，ご指導下さった生理学会の諸先生方，ならびに情報シェアリングしてくれた国内外のプロジェクト参加者皆様のお陰であり，この場を借りて深く御礼申し上げます。今後も引き続き，多大なご支援をお願い申し上げます。

（渋谷まさと）

\*編集執行委員

## 編集委員

*岡田 泰伸（一般生理）[編集・広報幹事]	佐々木和彦（神経生理）[東北]
赤須 崇（神経生理）[九州]	*定藤 規弘（心理生理）
*入来 篤史（感覚，運動，高次中枢）	*渋谷まさと（呼吸・循環）
*河西 春郎（神経・分泌生理）	菅屋 潤壹（栄養・代謝・体温）[中部]
川上 順子（感覚）	関野 祐子（神経化学）
北澤 茂（運動，認知）[関東]	高井 章（平滑筋，自律神経）[北海道]
*久保 義弘（細胞分子生理）	辻岡 克彦（循環）[中・四国]
窪田 隆裕（腎・体液）[近畿]	美津島 大（内分泌）
小泉 周（感覚）	*村上 政隆（膜輸送）
小西 真人（筋）[東京]	吉岡 利忠（体力）
*小山 なつ（感覚，神経生理）[HP担当]	

日本生理学会事務局：〒113-0033 東京都文京区本郷3-30-10 布施ビル  
TEL：03-3815-1624 FAX：03-3815-1603（勤務時間10：30～18：30）  
E-mail：psj@qa2.so-net.ne.jp  
URL：http://wwwsoc.nii.ac.jp/psj/